

12月号

行事を振り返って

校長 桐ヶ谷 淳子

学校 だより



大和市立草柳小学校
大和中央3-6-1

早いもので令和3年も残すところあと1ヶ月となりました。振り返ってみれば、この2年間は新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄された毎日でした。感染者数が少し落ち着いてきたかと思うと次の波がやってきて、社会は病床の逼迫や経済活動が停滞する状況が続きました。学校も感染拡大を阻止しつつ、子どもたちの健康や安全を最優先に教育活動を継続していくことに心血を注ぎました。

少しずつでも歩みを進めたいという職員の強い思いから、2学期は制約があるもののいくつかの行事を実施しました。緊急事態宣言が明けての10月は運動会代替行事の「草小ピック」と1年生の遠足がありました。「引地台公園」までの結構な距離を、大きく列を乱さず整然と歩く姿に、1年生の成長を感じることができました。11月は全校児童対象に芸術鑑賞教室を実施しました。プロジェクションマッピングを使ったミュージカルは見応えのあるものでした。また、授業参観には多くの保護者の方にご来校いただきました。短時間での実施にご理解いただきましたことに感謝申し上げます。そして6年生は修学旅行に行きました。紅葉には少し遅い時期でしたが、昼間は日差しが暖かく、日光の自然と歴史に触れる貴重な経験ができたようです。2年生は2回校外学習に出かけました。自分たちが暮らす地域の、新たな発見につながったことと思います。たけのこ級の遠足ではシリウスの図書館を案内していただきました。また、自動販売機でジュースを買い、スーパーでは自分で選んだお菓子をセルフレジで購入する体験もしました。

4年生の福祉体験では車椅子の体験や手話を学びました。講師の方たちからは、子どもたちが真剣に取り組んでいたことにお褒めの言葉をいただきました。また、3年生、5年生は、それぞれ企業と学校をつないでのリモート工場見学を行いました。コロナ禍ならではの取組かもしれませんが、これからの学習の多様性や様々な可能性を感じました。行事を通して子どもたちが大きく成長することを心から期待しています。

2学期も、いろいろな場面で地域の方にお力添えいただきました。子どもたちにも11月の朝会で「感謝」について話をしました。雑草を刈り校庭を清掃してくださった自治会や子供会の方。花壇にパンジーを植えてくださったたり、池の掃除をしてくださったりする地域の方。行事の映像撮影や校舎内外を清掃して下さる地元の企業様。そして子どもたちの下校を毎日見守って下さるおかえりなさい運動の方。多くの方に支えられていることにあらためて感謝申し上げます。今年もありがとうございました。

物事の壁にぶつかるたびに自身に言い聞かせている言葉があります。「冬来たりなば春遠からじ」、「明けない夜はない」。どちらもイギリスの文学作品に出てくる言葉で、辛い時期を耐えれば必ず良いことがあるという意味です。まさにこの2年間はこの言葉を胸に、子どもたちの笑顔を活力に教育活動を進めてきました。

来年こそは世界中に暖かい春が訪れ、曙光がきざすことを願ってやみません。